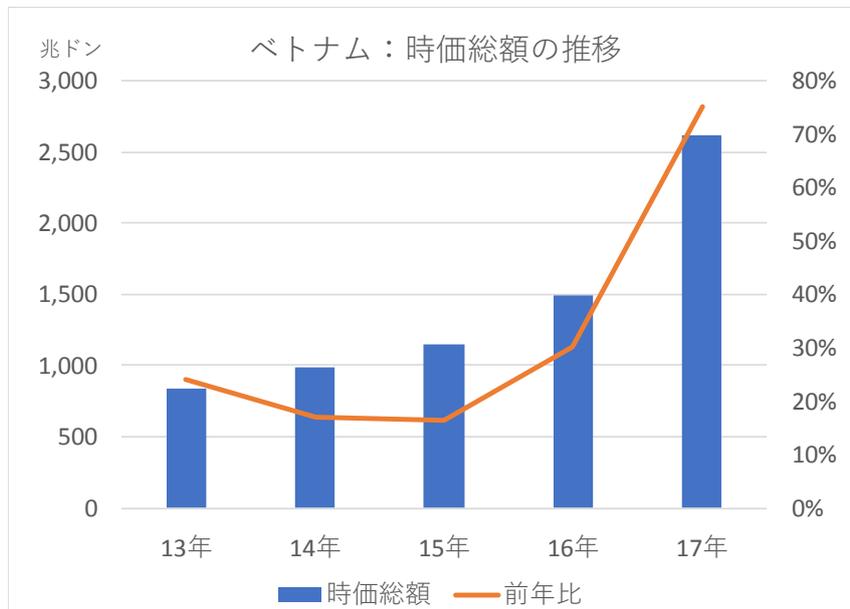


ベトナム:証券業界

<業界概要>時価総額が急拡大

ベトナムの株式市場ではここ数年、時価総額が右肩上がりの成長を続けている。主要市場のホーチミン証券取引所(HOSE)では、16年の時価総額が前年比30.1%増の1491兆7780億ドン(約7兆円)と大幅な成長を記録。翌17年はさらに大商いとなり、前年比75.2%増の2614兆1500億ドン(約11兆円)に膨らんだ。政策金利の引き下げや国営企業の株式会社化計画により、投資家心理が上向いていることなどが要因だ。

なお、HOSE 以外にはハノイ証券取引所(HNX)もある。HOSE では大型株(上場申請時点の払込資本金が1200億ドン以上)を取り扱うのに対し、HNX では中・小型株(同300億ドン以上)を取り扱う。HNX の上場企業数(384社)はHOSE(352社)を上回っているものの、時価総額は約150兆ドン(18年1月央時点)と約10分の1だ。

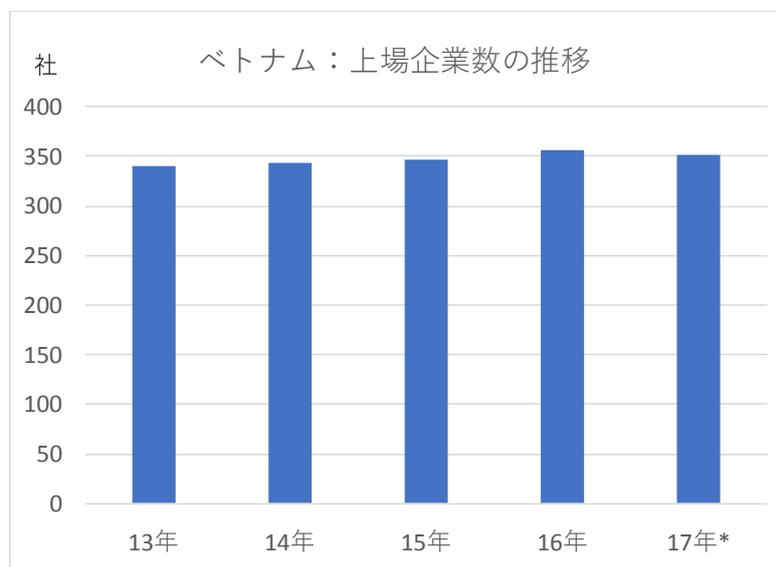


注)：ホーチミン証券取引所：Ho Chi Minh Stock Exchanges(HOSE)の時価総額。各年12月時点の数値。

(ホーチミン証券取引(HOSE)のウェブサイト、CEICのデータを基に亜州IR作成)

<上場企業数>横ばいが続く

ホーチミン証券取引所への上場企業数は、ここ数年頭打ち状態にある。17年の企業数は、前年比マイナス5社の352社に低迷した。

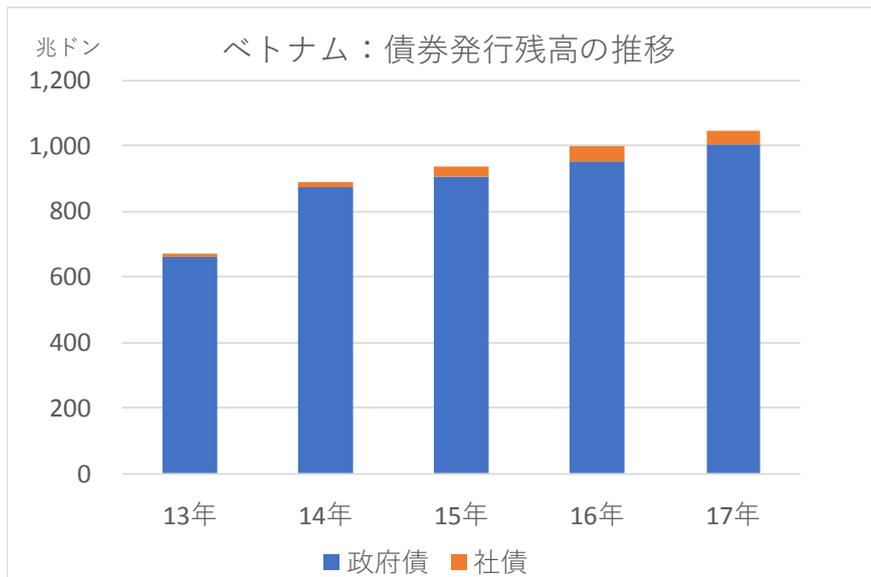


注)：13～16年は各年12月時点の数値。17年は18年1月16日時点でホーチミン証券取引所のウェブサイトから公表されている数値。

(HOSEのウェブサイト、CEICのデータを基に亜州IR作成)

＜債券発行残高＞政府債が拡大傾向

ベトナムの債券市場は、ここ数年発展を続けている。政府債と社債の合計発行残高は、17年に1044兆2290億ドン（約5兆円）まで膨らみ（うち政府債は1001兆1620億ドン）、13年からの4年間で55%の増加を記録した。なお、政府債と社債の比率は、17年時点でそれぞれ96%と4%となっている。



注)：政府債には国債、政府保証債、地方債、SBV(中央銀行)債を含む。13~16年は12月時点の数値。17年は9月時点の数値。

(Asia Bonds Online のデータを基に亜州 IR 作成)

<業界地図>民営地場系の活躍が目立つ

ホーチミン証券取引所で業務を行う証券会社の仲介シェア(17年)は、民営地場系のサイゴン証券が16.3%でトップ。これに、ホーチミン市証券(国営ホーチミン市国家財政投資会社=HFICと民営地場系の投資会社ドラゴン・キャピタルが共同出資)の11.9%、ベト・キャピタル証券(民営銀行系)の8.5%、VNダイレクト証券(海外投資家向けのオンライン証券)の7.2%、MB証券(民営地場系)の6.3%と続く。

ベトナム：証券会社別の仲介シェア(17年)

HOSE(株式・ファンド)	
会社名	シェア
サイゴン証券 (Saigon Securities Incorporation)	16.3%
ホーチミン市証券 (Hochiminh City Securities Corporation)	11.9%
ベト・キャピタル証券 (Viet Capital Securities Joint Stock Company)	8.5%
VNダイレクト証券 (Vndirect Securities Corporation)	7.2%
MB証券 (MB Securities Joint Stock Company)	6.3%
バオベト証券 (Baoviet Securities Joint Stock Company)	5.3%
サイゴンハノイ証券 (Saigon Hanoi Securities Joint Stock Company)	5.1%
BIDV証券 (BIDV Securities Joint Stock Company)	3.5%
Artex証券 (Artex Securities Joint Stock Company)	3.4%
FPT証券 (FPT Securities Joint Stock Company)	3.2%

(HOSEのデータを基に亜州IR作成)

(亜州IR：18年1月作成)